

## 学 会 彙 報

学会彙報

○十月十九日(火)午後三時三十分より  
本学講堂において、学内会員並びに有志  
によって臘扇忌法要が厳修された。大谷  
大学大竹鑑教授より「清沢先生の教育―  
議論と大笑―」と題して記念講演をいた  
だいた。

○十月二十二日(金)午後三時より、真  
宗学会大会が開催された。発表者並びに  
発表題目は次の通りである。

「井上円了の真宗哲学」

本学助教授 樋口章信

「日本人の超越感覚」

東京大学大学院教授 竹内整一

○十一月十六日(火)午後四時十分より  
修士論文中間発表会が開催された。発表  
者と発表題目は次の通りである。

「救済の大事―現前信仰の一念―」

渋谷行成

「欲生心」

「竊以の精神―親鸞の求道―」 乾 文雄

○十一月二十五日(木)午前九時より、  
真宗学演習Ⅰ特別講義がおこなわれた。  
向坊弘道先生をお迎えして「仏教との出

会い」と題する講義をいただいた。

○十二月八日(水)午後四時十分より卒  
業論文中間発表会が開催された。発表者  
と発表題目は次の通りである。

「親鸞の救済観―法蔵菩薩の精神―」

西尾朋史

「二尊教」

「行信の大道」

久保田俊明

「難信の法」

桑守即洋

「本願の名号」

藤原 久

「即得往生の信―凡夫の自覚―」

本多了英

○一月二十七日(水)午後三時より本学  
講堂において、学内会員並びに有志によ  
って鸞音忌法要が厳修された。真宗大谷  
派教学研究所長西田真因氏より「曾我先  
生の「宿業本能」について」と題して記  
念講演をいただいた。

○真宗学会例会活動報告

・第三回例会

十月十二日(火)午後二時三十分より

「清沢滴之の万物一体論」

博士課程二 橋田尊光

「説聴の方軌」

本学特別研修員 平原晃宗

・第四回例会

十一月十六日(火)午後二時三十分より  
「信の金剛不壊を問う」

博士課程二 小川直人

「観経疏―今乗―二尊教の意義」

本学特別研修員 武田未来雄

・第五回例会

十二月十四日(火)午後二時三十分より

「化身土卷の意義―如来の悲願―」

博士課程三 白鳥照美

「蓮如における真宗再興―弥陀をたのみ  
―」  
本学非常勤講師 池田 真